

【東京支部の組織】

1. 支部の地域構成

東京支部は1都3県(東京、神奈川、埼玉、千葉)に在住する会員が対象です。
その活動の中心は地理的な関係により東京圏(東京都全域、神奈川県東北部、埼玉県東部、千葉県北西部)となっています。

2. 分会構成

東京支部は会員数が多いため、下記のごとく6分会(各分会はそれぞれ支部扱い)によって構成されています。

(令和2年)

分会	学科略称
鉱山・建設系	コ, 設建, 建社, サ, 開, 鉱, 建建, 建地, 建都, 院開, M設, M建, D設, D建
金属	ヤ, 物材, 物B, 金, 加, 物マ, 二材, マテ, 院金, 院加, M物, D物
機械	キ, 二キ, 設機, 設B, 機科, 機情, 機宇, 機B, 機, 機二, 機機, 二機, 総合, 短機, 情機, 院機, 院機二, 院情シ, M設, M機, M創, M先, M情シ, D設, D機, D創, D先, D情シ
化学	カ, 火, 化, 環, 物化, 応化, 情生, 院化, 院環, 院情科, M物, M情科, M生生, M生脳, D物, D情科, D生生, D生脳
電気情報	テ, ツ, 二テ, 電, 子, 情, 二電, 電電, 電子, 電計, 電情, 電B, 電電子, 電通, 電シ, 電気工, 電子テ, 短電, 情知, 情子, 院電, 院子, 院情, 院情科, 院情シ, M電, M情科, M情シ, M情創, D電, D情科, D情シ, D情創
制御	制, 設制, 機制, 機知制, 情制, 情創, 院制, 院情科, M設, M機, M情科, D設, D機, D情科

備考:1)構成学科は明専会会員名簿の略称で示した。

3. 支部、分会の会員数

(令和2年4月1日現在)

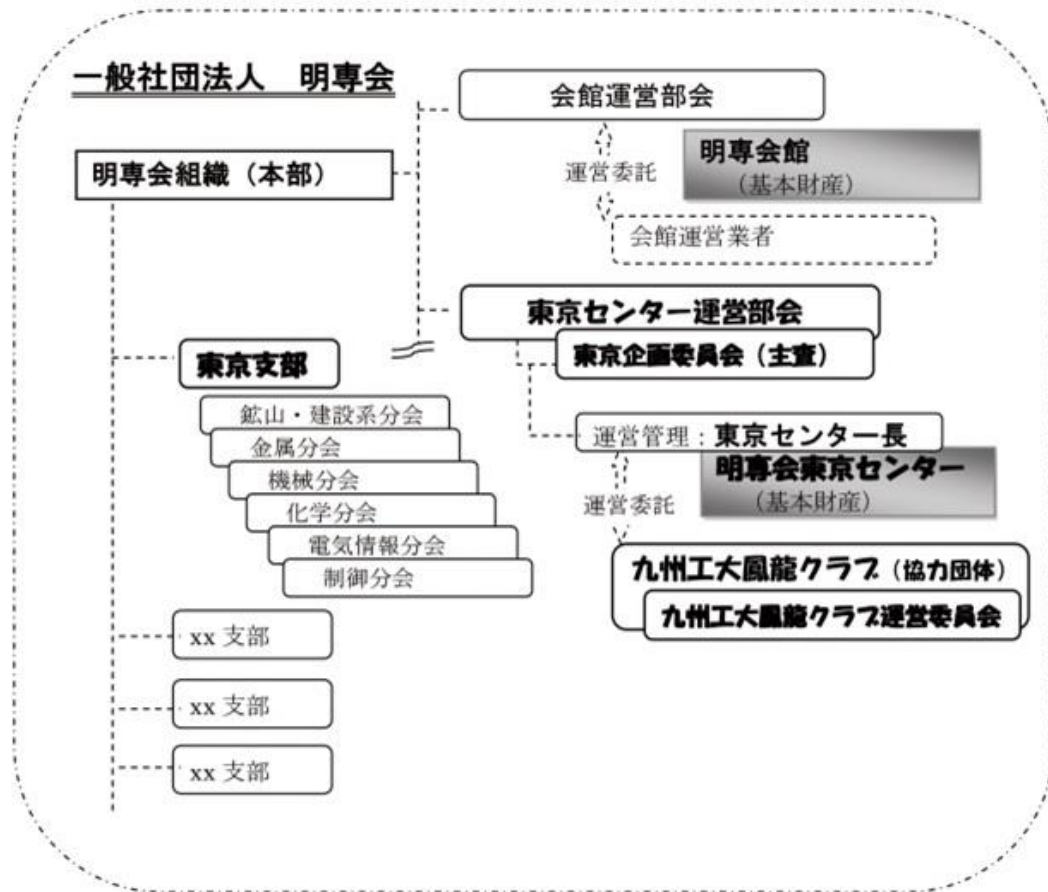
分会名	正会員	活動会員	備考
鉱山・建設系	336	240	正会員:卒業会員 (転居その他の理由で正確な数値ではない)
金属	437	220	
機械	857	380	活動会員: 分会活動等に関して交信可能な会員
化学	635	360	
電気情報	1,364	470	
制御	482	100	
合計(東京支部)	4,111	1,770	

東京支部、明専会東京センター、九州工大鳳龍クラブの関係

「東京支部」は明専会員の組織であり、「東京センター」は一般社団法人明専会の基本財産で、明専会本部の管理下にある。

明専会本部のもと、「東京センター運営部会」で運営し、運営管理の実務は東京センター長が当たる。また、本運営部会に重要事項を集中審議するために「東京企画委員会」を置く。

「九州工大鳳龍クラブ」は明専会会員有志(賛助会員)による協力団体であり、東京センターの目的・使命達成に寄与し、合わせてセンター運営の委託を請ける。



【東京支部】

明専会組織規程第11条によって設立されたものであり、明専会本部との連絡を密にしてその事業に協力し、会員相互の親睦と啓発につとめることを目的として設立された明専会の中の一つの地域的な組織です。

組織運営の効率化を目的とし、6つの分会から構成されています。それぞれの分会は機能上支部扱いです。

東京支部には支部長1名、事務局(幹事長1名)、会計担当1名、監事2名および、各分会代表から構成されています。(詳しくは東京支部役員欄を参照ください)

【明専会東京センター】（一般に東京センターと呼ばれています）

明専会の一つの活動拠点として設けられた建築物（法人の基本財産）であります。その運営は明専会組織規程第15条2に基づいて設置した「東京センター運営部会」で行い、運営管理は東京センター長があたります。

円滑な運営と発展を図るために、下記のような東京センター運営委員会を設け、年2回（通常2月・7月）開催いたします。

（詳しくは「一般社団法人明専会東京センター運営基準」を参照ください）

○部会長1名	明専会副会長
○副部会長2名	部会長推薦者の2名
○委員	東京支部各分会の推薦者各2名、委員長の推薦者5名以内、 東京センター長
○監事2名	明専会監事の推薦した者

【東京企画委員会】

明専会東京センターの重要事項を審議、提案するために本委員会を設置しています。

支部長を委員長とし、支部役員（支部長、幹事長、監事）および6つの分会長、主管で構成されています。

【九州工大鳳龍クラブ】（一般に鳳龍クラブと呼ばれています）

東京センターの協力団体として設けられた組織であります。

その具体的な事業内容は下記のようなものがあげられます。

1. 東京センターの活動のための財政的援助
2. 会議、講演会、勉強会、親睦会その他各種の会合開催
3. 東京センター利用者に対する飲食物の斡旋
4. その他本クラブの目的を達成するために必要な事業

このような事業を行うための資金は個人賛助会員（東京支部会員のみではなく、広く明専会全会員より募集）および法人賛助会員の賛助会費で賄われています。

本クラブの円滑な運営と発展を図るために鳳龍クラブ運営委員会です。

東京支部関連役員

1. 東京支部役員および明専会代議員（令和2年度）

支部 分会名	東京支部役員		明専会代議員 (東京支部選出者)	
	役名	氏名		
東京支部	支部長	蔵本正彦(化51)		
	幹事長	小野 聡(電51)		
	会計幹事	菅 和生(環61)		
鉱山・建設系分会	分会長	柿原利孝(開46)	柿原利孝(開46)	岡田光志(開62)
	幹事長	眞柴 浩(設建H6)	眞柴 浩(設建H6)	
	会計幹事	小郷政弘(開51)		
金属分会	分会長	佐藤俊明(金48)	佐藤俊明(金48)	村上 哲(加54)
	幹事長	高鍋雅則(物BH8)	高鍋雅則(物BH8)	
	会計幹事	富高精蔵(加48)		
機械分会	分会長	古賀 司(機50)	高原正雄(機43)	田中 博(二機50)
	幹事長	長井直之(機二58)	加賀山保一(機52)	田中瑞彦(機58)
	会計幹事	木下郁夫(機二62)	田中将樹(機H16)	
化学分会	分会長	竹林貴史(化58)	栗原正人(化50)	蔵本正彦(化51)
	幹事長	長谷部浩一(化60)	竹林貴史(化58)	菅 和生(環61)
	会計幹事	菅 和生(環61)	橋本ちえみ(化H1)	
電気情報分会	分会長	小野 聡(電51)	小野 聡(電51)	末吉 誠(二電56)
	幹事長	久保田和彦(電56)	久保田和彦(電56)	富田昌明(電57)
	会計幹事	末吉 誠(二電56)	佐々木和正(情子H14)	藤岡福資郎(情子H14)
			齊藤ちさと(情H3)	
制御分会	分会長	平野楯夫(制42)	平野楯夫(制42)	山口政仁(制52)
	幹事長	山口政仁(制52)		
	会計幹事	村田三七男(制59)		

2. 東京センター運営部会

部会長	蔵本正彦(化51)			
副部会長	柿原利孝(開46)	小野 聡(電51)		
センター長	栗原正人(化50)			
委員	眞柴 浩(設建H6)	佐藤俊明(金48)	犬丸清美(化53)	
	古賀 司(機50)	長井直之(機二58)	久保田和彦(電56)	
	竹林貴史(化58)	長谷部浩一(化60)	平野楯夫(制42)	山口政仁(制52)
	永松正博(制47)	菅 和生(環61)		
監事	山口政仁(制52)	長谷部浩一(化60)		

東京支部行事予定

東京支部の活動は支部構成母体である6つの分会の協力によって行われています。
分会協力による東京支部のまとまった運営活動状況を報告いたします。
それぞれの分会の活動状況については各分会のホームページを参照ください。

1. 支部運営の方法

1-1) 支部役員会

東京支部の役員は東京センター運営委員、鳳龍クラブ運営委員を兼務していることが多いため、支部役員会、東京センター運営部会、鳳龍クラブ運営委員会を合同して開催される年5回(2月、4月、7月、10月、12月)の運営委員会において、各種の検討審議を行っております。

1-2) 各種委員会

特定の事項について比較的長期にわたって検討解決すべきものは支部役員会の決裁によって、それぞれ委員会を設けて解決にあたっております。

2. 年間行事

それぞれの分会ごとに年次総会、講演会等の行事を行っています。分会毎のホームページをご覧ください。
全分会の共催行事(東京支部主催)として、下記の年次定例行事を行っています。

行事名	時期(目安)	内容紹介
鳳龍クラブ主催新年会	1月 最終土曜日	東京支部と鳳龍クラブの共同で開催される年始の賀詞交換会
春季講演会・懇親会	4月 第3土曜日	自己啓発と懇親を兼ねた支部最大行事の一つ。
新人歓迎会	7月 第1土曜日	東京圏の企業団体へ就職着任した新卒者の歓迎会であり、例年70人前後の参加。
秋季講演会・懇親会	10月 第1土曜日	春季のものと同じ趣旨の行事。

備考:開催場所は原則として東京センターですが、新人歓迎会は外部施設を使用する場合があります。

3. 令和元年度および令和2年度の行事実績と計画

直近の計画および報告は、「支部・その他からのお知らせ」ページをご参照ください。

行事名	開催日	内容紹介
令和元年度 秋季講演会・懇親会	令和元年10月5日	講師:御厨千恵様(出光興産主任部員/物化H14) 演題:『お互い様のこころ ～人生を楽しくするキーワード～』
令和2年度 新年会	令和2年1月25日	明専会東京支部役員ならびに鳳龍クラブ賛助会員 44名出席
令和2年度 春季講演会・懇親会	令和2年4月18日	新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、開催中止
令和2年度 関東地区新人歓迎会	令和2年7月4日	R1・R2年に関東地区に就職の新人を歓迎する会 (案内状をFacebook,明専会HPに掲載する)
令和2年度 KIT-formula応援団	令和2年9月10日 または12日	毎年9月上旬、静岡県小笠山総合運動公園で開催の全日本学生フォーミュラ大会に出場の九州工大チーム(KIT-formula)を応援する
令和2年度 秋季講演会・懇親会	令和2年10月3日	講師:九州工大准教授 西田祐也氏 演題:『次世代海中ロボットによる海底調査』